

# 令和8年度伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 総合体育大会 柔道大会 要項

- 1 主催 伊勢崎市佐波郡教育委員会連絡協議会 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟
- 2 主管 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 柔道部
- 3 大会期日 令和8年6月13日(土)・14日(日) 13日:団体戦 14日:個人戦  
7時30分 役員集合 7時45分 生徒入場  
8時10分 検査・計量 9時30分 試合開始
- 4 会場 伊勢崎市境武道館 0270-74-3905  
スポーツ振興課 0270-74-1113
- 5 競技役員  
専門部長 佐藤 昭宏 (玉南中)  
専門副部長 田口 敬之 (玉南中)  
専門委員長 木暮 寛幸 (第四中)  
委員 高橋 哲 (第一中) 宮崎 潤一 (第一中) 青柳 和宏 (第二中)  
新井 聡明 (第三中) 岡崎 純也 (第四中) 星野 治道 (殖蓮中)  
見供 凌太 (宮郷中) 吉田 睦 (宮郷中) 三輪 洋介 (赤堀中)  
竹林 千晴 (赤堀中) 菅野 晃平 (あずま中) 関口佳奈恵 (あずま中)  
角谷 圭 (玉村中) 涌沢 直行 (玉村中) 小川 翔史 (玉南中)  
仁科 功 (境柔教)
- 6 競技規則  
国際柔道連盟試合審判規程および少年大会試合審判規程、県中体連柔道部申し合わせ事項、全柔連が定める団体戦の勝敗決定方法、「伊勢崎佐波中体連申し合わせ事項」によって行う。
- 7 選手  
(1)男子団体戦は1チーム、監督1名、コーチ1名、選手7名以内とする。  
(2)女子団体戦は1チーム、監督1名、コーチ1名、選手4名以内とする。  
(3)選手の編成は、体重の最も多い者を大将とし、以下順次体重順に編成するものとする。  
なお、補員を入れるときは、順次編成替えをする。  
(4)男子団体戦で、選手が5名に満たない場合には、大将より順に編成し、間に欠員を置かない。また、女子団体戦については、選手が3名に満たない場合には、先鋒を空けるものとする。  
(5)団体戦において補員の充当により抜けた選手も、個人戦には出場できる。  
(6)個人戦は、各体重別とする。  
<男子> 50Kg以下, 50kg超～55Kg以下, 55Kg超～60Kg以下, 60Kg超～66Kg以下,  
66Kg超～73Kg以下, 73Kg超～81Kg以下, 81Kg超～90Kg以下, 90Kg超  
<女子> 40kg以下, 40kg超～44Kg以下, 44Kg超～48Kg以下, 48Kg超～52Kg以下,  
52Kg超～57Kg以下, 57Kg超～63Kg以下, 63Kg超～70Kg以下, 70Kg超
- 8 試合時間 3分

## 9 試合方法

### 《団体戦》

団体戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」「有効」または「指導」差2があったときとし、その内容に満たない場合は「引き分け」とする。

(1)男子は2リーグに分け、各組で予選リーグ戦を行い、各組の上位3校によるトーナメント戦を行う。女子は、リーグ戦を行う。

(2)リーグ戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、引き分けとする。

(3)リーグ戦の順位は、次の順によって決定をする。

(ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

(イ) (ア)において同率の場合は、勝ち数の合計による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、勝ちの内容による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、負け数の合計による。

(オ) (エ)において同等の場合は、負けの内容による。

(カ) (オ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

ただし、3校同等の場合は、代表選手3名によるリーグ方式を行う。

(4)トーナメント戦の各試合の勝敗は、次の順によって決定する。

(ア) 勝ち数による。

(イ) (ア)において同等の場合は、「一本による勝ち」の数による。

(ウ) (イ)において同等の場合は、「技ありによる勝ち」の数による。

(エ) (ウ)において同等の場合は、「有効による勝ち」の数による。

(オ) (エ)において同等の場合は、任意の選手による代表戦により決定する。

### 《個人戦》

各階級でトーナメント戦を行う。

個人戦における判定基準は「技あり」「有効」または「指導」差が2あったときとし、本戦で同等の場合は、GSにより勝敗を決する。

## 10 表彰

団体戦の優勝校には、優勝旗及び賞状を授与し、第2位校、第3位校には賞状を授与する。

個人戦は、階級ごとに別途定める。

## 11 代表資格

《男女団体戦》本大会では男子は上位4校、女子は上位3校が代表資格を持ち、県大会に進出する。

《個人戦》各階級の優勝者が代表資格を持ち、県大会に進出する。なお、各階級の県大会シード選手を擁する階級については、シード選手を除いた上位第1位が代表資格を持ち、県大会に進出する。補欠者は、シード選手を除いた上位第2位とする。ただし、男子の各階級の選手登録が16名につき1名、女子は各階級の選手登録が8名につき1名、代表資格者が増える。また、県大会シード選手が本大会のその階級の計量を

通過できなかった場合は、県大会への出場資格を失うものとする。

## 12 伊勢崎佐波中体連申合せ事項

《団体戦》代表戦の試合時間は3分とし、得点差がないときはGSにより勝敗を決する。

《個人戦》得点差がないときはGSにより勝敗を決する。

## 13 その他

(1)選手は規定のゼッケンをつける。ゼッケンのない者は出場できない。なお、襟から5～10cm下に下記のように付ける。

(2)相手を威圧するような行為(染髪・眉剃り等)をしている生徒は、出場できない。

(3)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医〔脳神経外科〕の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(4)試合時の帯の色は、若番(対戦表の上または左)を赤、古番(下または右)を白とする。

(5)試合当日、「団体戦参加申込書」とともに、団体戦の対戦用に下のメンバー表(模造紙1/4)1部を受付へ提出する。

(メンバー表)

<男子>					学 校 名
先	次	中	副	大	
(模造紙 1/4)					補 補 員 員

<女子>			学 校 名
先	中	大	
(模造紙 1/4)			補 員

(ゼッケン) 30 ~ 35 (cm)



- ・指がどこにも入ったり、ひっかかったりしないように縫う。
- ・男子は黒、女子は赤文字
- ・対角線にも強い白い糸で縫いつける。

\*送迎、駐車場での事故やトラブルについては、一切の責任を負えませんので十分ご注意ください。